

海外安全対策情報（香港・マカオ）

1 2015年4月～6月の間に邦人が巻き込まれた犯罪

2015年4月～6月の間の在香港日本国総領事館管轄域内における日本人の犯罪被害件数は、14件でした（当館把握分）。被害内容は、窃盗による被害が主なもので、交通機関内や駅構内で荷物から貴重品をスリとられる、交通機関内で居眠りをしていていた際に鞆ごと置き引きされるなどの被害が見受けられました。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

日本人の被害は報告されていません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

2015年6月15日、香港警察は、爆発実験のため化学物質を所持していた香港市民らを爆発物製造共謀の容疑により、西貢を含む香港各地で逮捕した旨発表しました。この発表によりますと、西貢で男性2名が爆発実験のため化学物質を所持していることが明らかになり、このうち1名の自宅から、高性能爆薬TATPの製造に必要な化学物質を発見し、もう1名の携帯電話から、煙幕弾の製造に必要な化学式を発見しました。また、その後、別の場所で、男性3名、女性4名を逮捕し、このうちの一部の者は、いわゆる本土主義者の構成員なる旨を自認しました。

4 対日感情

一般的には良好ですが、先の大戦に関連して我が国に対する要求を行う団体、尖閣諸島に関して中国の領有権を主張する団体等による抗議活動は、依然として継続されており、引続き注意が必要です。

5 日本企業の安全に関する諸問題

特段の問題は報告されていません。

6 治安情勢

香港・マカオ、両地域の最新の政府発表による犯罪発生件数を前年同時期等と比較したところ、香港及びマカオともほぼ横ばいの傾向が続いており、治安情勢は比較的安定していると言えます。

(1) 香港警察発表による2015年1月～4月の犯罪発生件数

2015年1月～4月の犯罪発生件数は、22,412件で、前年より300件増加しています（約1.4%増加）。この中で、窃盗事件（9,810件、約3.3%増加）と詐欺事件（2,986件、約15.7%増加）については増加の傾向が顕著であり、特に注意が必要です。

(2) マカオ保安司発表による2015年1月～3月の犯罪発生件数

2015年1月～3月の犯罪発生件数は、3,588件で、前年より約2%増加しています。この中で、不法監禁（67件、約97%増加）、強盗（30件、約7%増加）、放火（10件、約150%増加）、及び、高利貸し（68件、約25%増加）についてはそれぞれ増加傾向にあり、特に注意が必要です。